

学びの秋。11月は、体験学習や見学をたくさん行いました。

福祉講話

11月8日(金)に、2・3年生と5・6年生がそれぞれ手話講座に参加しました。町の福祉課、社会福祉協議会、町聴覚障害者協会、手話サークル神明の方々にお越しいただき、小さい頃のことやろう学校時代のこと、聞こえない人の生活の様子(困っていること、不便なこと、サポート方法など)をお話していただきました。また、グループに分かれてあいさつや好きな動物、自分の名前などを手話で教えていただき、実際にやってみる学習もしました。最後に、みんなで「世界中の子どもたちが」を手話と一緒に合唱しました。

市川三郷町は、平成27年に手話言語条例を制定しています。これからも、聴覚障害の理解と手話を広めていきたいと思います。

6年生 陶芸教室

11月11日(月)に6年生が陶芸教室に参加し、卒業制作の貯金箱づくりをしました。六郷中学校で美術の指導をしている小野真代先生を講師にお招きし、思い思いの貯金箱を作成しました。成形した貯金箱は、小野先生のお宅の窯で焼いていただき、卒業式の式場に

展示する予定です。どんな作品ができあがってくるか今からとても楽しみです。



3年生 社会科見学

11月15日(金)の午前中に3年生が北部消防署と鯉沢警察署の見学に出かけました。

施設内を見せてもらったり消防車、救急車、パトカー、白バイなどの機材を見せてもらったり実際に乗せてもらったりして、学習をしてきました。



4年生 社会科見学

同じく11月15日(金)の午後は、4年生が中央市にある防災安全センターの見学に出かけました。

施設の展示を見ながら地震のメカニズムについてのお話を聴きました。また、地震体験装置で震度7の揺れを体験したり煙体験装置で視界が遮られている中を歩く体験をしたりしました。地震が起きたり煙に巻かれたりしたときの心構えなどを学んできました。



4年生 福祉体験学習

11月21日(木)に4年生が福祉体験学習を行いました。町の社会福祉協議会の方に来ていただき、視覚障害や身体障害の体験をしました。視覚障害の体験では、目隠しをしてシャンプーやリンスの違いを比べたり視覚障害者用のオセロを体験したりしました。また、白杖を持って、友だちの案内のもと点字ブロックの上を歩いたり障害物を避けながら歩いたりしました。身体障害の体験では、友だちを車椅子に乗せて押しながら介助したり、自分で車椅子を操作しながら段差を上ったり狭い通路を通過したりする体験を行いました。

いずれの体験でも子供たちは、その困難さを感じ、障害を持った方たちに自分たちが出来ることを考えていました。このような学習を通して福祉の心がより大きく育っていった欲しいと思いました。



5年生 社会科見学

11月22日(金)に5年生が、メッツ身延工場へ社会科見学に行きました。メッツ身延工場は、Hondaグループの自動車部品などを製作している工場です。5年生では社会科で日本の工業生産についての学習をしています。子供たちは、工業製品が作られる様子を実際に見て・聴いて・感じて学習を深めてきました。



6年生 卒業証書制作

同じ日の午後、6年生が豊川手漉和紙製造に行き、手漉きの卒業証書づくりを行いました。一人ひとりが和紙を漉いて世界に一枚の自分だけの卒業証書を作成しました。漉いた和紙に印刷をし、名前を入れて3月の卒業式に卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡します。



1・2年生 木の実教室

11月26日(火)の午前中、1・2年生が木の実教室を行いました。講師の先生方に教わりながら、丸太や枝をのこぎりで切ったり、松ぼっくりやドングリを貼り合わせたりして、思い思いの作品を仕上げました。講師の先生方から、「子どもたちが楽しそうに熱心に取り組んでいて、一人ひとりが個性あふれる作品を作っていてすごいですね。」と子どもたちの様子を褒めていただきました。自然とふれあう良い機会になりました。



ありがとうございました。

長年にわたり、六郷小中学校の児童生徒の登校を見守ってくださった地域ボランティアの笠井孝様が、11月1日をもってご勇退されました。笠井様には、晴れの日も雨の日も、暑い日も寒い日も毎日通学路に立ち、子供たちの安全を見守り、元気に声をかけてくださいました。本当にありがとうございました。